

よこそうをよりよく知るためのフリーマガジン

プロトナード

毎月1日発行

2023年

1月号

Vol.357

増量16P

特集 1

『利他の心をもって困難な社会に立ち向かおう』

シリーズ連載

『治験とその効用（第1回）』

脳神経外科医 平元 周

薬剤師 谷川 浩司

特別インタビュー

『よこそうびと File#001』

皮膚科医 鈴木 琢

Voice 『私が目指していること』

よこそうニュース 『Capture the Fracture 銀賞』
を受賞しました！他

連載

『Dr.長田の認知症学事始』
『ワンダフルニャンダフル♪』



利他の心をもって 困難な社会に立ち向かおう

新年あけましておめでとうございます。

本年も皆様の健康維持に役立てる“よこそう”として頑張る決意ですので
よろしくお願いします。

2022年振り返って



さて清水寺で発表された2022年今年の漢字は「戦」でした。まさにロシアの侵略によるウクライナ戦争の悲惨さが画像を通じて全世界に拡散されているにもかかわらず、戦争終結に持つていけない、見て見ぬふりをせざるを得ない大国のエゴを感じ、自分が何もできないもどかしさに心を痛めた1年でした。

私にはウクライナで医療活動をしている複数の団体に寄付することしかできませんでしたが、利他の心（自分のことより

も他人を思いやる心）を持つ人が世界中で少しでも増え、戦争の早期終結が今年の世界最大の課題だと思います。

また地球温暖化による大自然災害との戦いも続いています。日本国内でも異常気象、集中豪雨などの被害が大きかったですが、世界では干ばつやウクライナ紛争の影響でのエネルギー危機、食料危機などで飢えに苦しみ、命を落とす人達も多数います。まさに生きるために日々の戦いが行われていると言えるかもしれません。これらに対しても利他の心を持つ人々の援助が必要となります。

コロナと社会状況

“よこそう”は昨年1年間もコロナとの戦いの日々でした。当院では救急医療と通常医療を維持しつつ、地域医療を守るためにコロナ感染患者の受入れ・対応に奮闘してきました。職員全員が一丸となって感染予防対策を行ってコロナ感染患者・コロナ擬似症患者への対応を可能な限り行い、入院患者さんに対しては入院時にコロナPCRをチェックし、院内にコロナを持ち込まない努力を続けました。しかし、コロナウイルスがデルタからオミクロンへと変異し、感染力が強まる中、入院時PCR（-）でも翌日（+）というケースも多く、また発熱以外の疾患で入院した患者さんが入院時以降の検査で陽性



というケースも多々あり、残念ながら昨年も職員・入院患者のクラスターが数回発生し、救急患者、紹介患者、入院患者を一時、ストップしなくてはならない状況となりました。

地域の皆様、医師会、救急隊には大変なご迷惑をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。

利他の心～思いやる心～

さて、今年はどんな年になるのでしょうか？ 年末からコロナ感染者も増加傾向で東京・神奈川などの大都市圏でのインフルエンザ発生報告も増えており、1月末から2月にかけて危惧されているインフルエンザとコロナ同時流行の可能性も現実味を帯びてきました。またコロナの新たな変異株の出現も報告され、コロナが収束に向かうかどうかも不透明な状況です。国外を見ますとウクライナ戦争は未だ終結せず、北朝鮮、中国、ロシアと日本を取り巻く周辺環境もきな臭くなり、防衛力増

強のための増税方針が決定しました。円安、ウクライナ問題などで電気・ガソリン・ガス、食料品などの生活必需品の物価上昇が続き、まさに生存権に関わる生活防衛の戦いも続いていることと思います。このような不安定な世の中の状況でもやはり健康であることが一番の幸せだと思います。私も医者の不養生を地で行く形となり、健康の大切さを痛感しており、健康維持し最後まで元気にピンピンコロリという終活のためにも、日頃の健康管理・予防的治療が必要だと思います。自分自身の健康管理と共に利他の心（自分のことよりも他人を思いやる心）を持つ人々が増え、お互いに助け“愛”的精神を持ち続けることが混沌とした社会からの脱却につながると信じています。

“よこそう”は地域の中核病院として、今年も地域の皆様に安心と安全の医療を提供し、“転ばぬ先のよこそう”として、日頃の健康管理から専門性の高い医療の実践を目指し職員一丸となって利他の心を忘れずに頑張っていきますので、本年も引き続きよろしくお願ひいたします。

平元 周 / Makoto Hiramoto

院長

脳神経外科部長

弘前大学（1979年卒）

聖路加国際病院

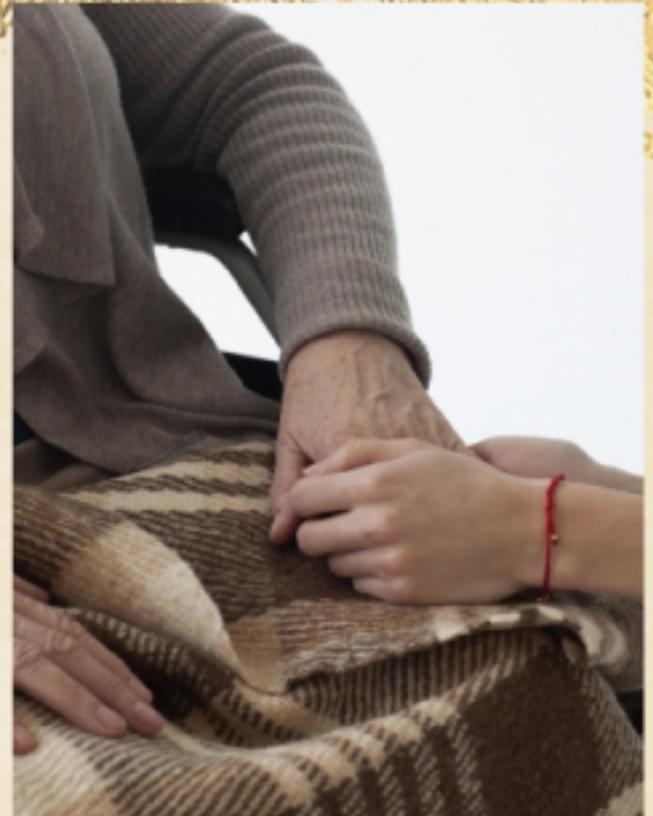
弘前大学脳神経疾患研究施設

北品川病院

東邦大学客員講師

日本脳神経外科学会専門医

日本救急医学会救急科専門医



治験とその効用

第1回

みなさん、「治験」をご存じでしょうか？

似たような用語に、臨床試験、臨床研究などもありますが、今回の話題は「治験」です。そして「治験」の効用について、今回から3回にわたって考えてみたいと思います。初回は、治験の概要から大まかな流れまで、治験の効用について思いを馳せるために必要な事柄を説明しようと思います。

「治験」とは

医薬品が（金銭の授受の有無に関わらず）正式に世の中にでて、患者さんに使用されるには、原則、その医薬品を供給しても良いという日本国のお墨付き（これを輸入製造販売承認、長いので承認と呼びます）が必要です。

医薬品の承認を受けるには、承認審査の申込み（承認申請と呼びます）をして、承認を審査するために必要な材料（文書）の提出が必要です。

この文書には、承認申請書もありますが、一番大事なのは、申請しようとしている医薬品が、十分な効



果を持ち、かつ安全であることを証明するデータとなります。

このデータを構成するのが、治験によって得られた結果をまとめたもので、つまり、治験とは、医薬品の承認を申請するにあたり必要なデータを得るために、実際の患者等に投与して、その効果が十分であるのか、治療期間に渡って投与しても許容範囲内で安全に使用できるのか、を客観的に評価できるデータを集めるための、とても表現が悪いのですが「実験」ということになります。

以前は、それこそ「実験」と称されてもやむを得ないような治験があったのも事実ですが、現



在では、治験を実施するにあたり、倫理的な面も含めて法的な整備と厳密な実施管理がなされ、特に安全性を確保しながら段階的に治験を進める体制が確立されています。

承認までのプロセスと治験の種類

治験は、承認までのプロセスという観点からは、大きく分けて3つ、つまり、第I相試験、第II相試験及び第III相試験に分類できます。



薬剤部副部長
谷川 浩司

Illustrated by Ken Nagata

第I相試験

(臨床薬理試験)

健康成人や特定の背景（腎機能低下等）を有する被験者を対象に、薬の体内での動きや効き方、薬の飲み合わせ、食事の影響などを調べる

第II相試験

(用量反応試験)
(用量設定試験)

患者を対象として、投与量・投与方法と効き方や安全性の関係を見積もることを目的とした第IIa相試験と、第IIb相試験結果に基づいて第III相試験で用いる投与量・投与方法を決定するための第IIb相試験で構成される

第III相試験

(検証的試験)
(長期投与試験)

承認後に実際の患者に対し用いる投与量、投与方法や投与条件を決定するための試験で、この試験のデータをもって、承認の可否を判断する。また、ある程度の治験期間を確保し、長期投与における安全性を評価する

治験の流れ

1つの治験が開始されてから終了するまでの流れです。

治験実施計画の立案と治験実施計画書の作成

治験の目的を明らかにし、医療機関、規制当局及び患者に対しその効果を客観的に説明できるようにする

治験届

厚生労働省（規制当局）に治験実施のための届出（治験実施計画書、同意説明文書等を含む）をおこない、疑義が解消されたのち受理となる

治験審査委員会（IRB）

治験を実施しようとする医療機関において、当該治験実施に関する審議をおこない承認を得る

被験者（患者）の確保

同意説明文書（インフォームド・コンセント・フォーム）を用いて、被験者候補に説明し、自発的な治験参加の同意を得る

スクリーニング

自発的に治験参加に同意した被験者候補が、当該治験の参加条件を満たしているかどうかを調べる。参加条件を満たしていないければ治験には参加できない

割り付け

どの治験薬（実薬か、プラセボかなど）を投与するかについて、無作為に割り付ける

治験薬投与

治験実施計画に従って治験薬を投与し、必要なデータを得る。投与前にデータ（ベースライン）をとることもある

治験薬投与終了後安全性評価

最後の治験薬投与が終了してからある一定期間、安全性データをとる

次回は、皆さんのが治験に参加する時の手順や留意事項について説明したいと思います。

（次号「治験とその効用第2回」に続きます）

「小さいころ体が弱かつたこともあって——医師になりたいなど」

鈴木 琢（皮膚科部長）

東邦大学（1998年卒）
東邦大学大橋病院
新潟厚生連佐渡総合病院
河北総合病院
東邦大学医療センター大橋病院
日本皮膚科学会認定専門医



「よこそうびと」第1回は皮膚科部長・鈴木琢先生をお招きしました。

——まずは先生の青春時代について教えてください

中学、高校の部活動はそれほど長続きしませんでした。
勉強もそれほどしていなかったです。
当時は集団で何かをやるというのがあまり得意でなく続かなかったのだと思います。
大学では3年間、軽音楽をやっていました。

——そんな中で医師を目指すキッカケはありましたか？

父親が歯科医だったことが影響していると思います。
もともと身体が弱かったこともあり医師になってみたいと思うようになり、その気持ちは高校生くらいから強くなっていました。

——その医師の仕事場としてよこそうを選んだ理由をお願いします

以前勤務していた大学の上司の推薦が当院へ赴任したキッカケです。
それまでは東京の病院での勤務だったので横浜に来ることは当初不安もありましたが何事も経験だと思い横浜総合病院を選択しました。



——よこそうのよいところは？

一言でいえば「アットホーム」、職員同士がとても仲が良く、コロナ禍以前はよく懇親会を頻繁に行い職員同士で結束を強めていました。
また気兼ねなく行けるようになるとよいと思っています。



——お休みの日の過ごし方を教えてください

外に出かける事が好きなので散歩やドライブへは頻繁に出かけています。
最近行ったドライブだと千葉の房総半島の海がよかったです。
富士山の麓なんかもお気に入りですね。



——冬の時期、皮膚科医としてのアドバイスがあればお願いします

どうしても季節がら、乾燥の傾向がありますので乾燥を防ぐための保湿剤を塗ること、あとは部屋の湿度を加湿し乾燥しないように心掛けることが大切です。
保湿剤の使用については一度に多くの量を使用するのではなく少ない量にして塗る回数を増やす方がよく効くと一般的には言われています。



——美容に関心のある読者の方々へお勧めのスキンケア方法はありますか？

基本的にはきちんと保湿することが大切です。
あとは一般的に処方される薬とは別にプラスアルファで使用する医薬部外品も病院でお勧めしているものもありますので是非利用をしていただきたいと思います。
夏の時期には日焼けにも良いものがありますので患者さんにはおすすめしています。



鈴木先生、本日はお忙しいところありがとうございました。

鈴木琢先生の診療科・皮膚科外来はこちらです
<https://yokoso.or.jp/department/dermatology>



連載第四回

エビングハウスの
忘却曲線

臨床研究センター長
あざみ野健診クリニック施設長

長田 乾



忘却のメカニズム

初めて聞いた電話番号も、繰り返し紙に書いたり、何度も呟いているうちに長期間憶えていることができますが、何もしないと直ぐに忘れてします。心理学では、新しい情報を覚えることを「記録」、情報を保存しておく過程を「保持(貯蔵)」、情報を思い出す過程を「想起」と呼び、さらに情報を忘れる事を「忘却」と定義します。

憶えたことは忘れないに越したことはない訳ですが、人間の記憶容量に限界があり、憶えたことの一部を忘却しないと、次に新しい情報を記憶することが困難になります。われわれは古い情報や不要な情報を忘却することで、半永久的に記憶情報を更新し続けることができます。忘却のメカニズムには、諸説ありますが、時間経過によって忘却が生じる「減衰説」や別の情報から抑制的な影響を受けるために忘却が生じる「干渉説」などがあります。

エビングハウスの実験

ドイツの心理学者ヘルマン・エビングハウスは100年以上前に、ヒトの記憶が時間経過とともに減衰する過程を「忘却曲線」により表現しました。この実験で



すなわち、人間の記憶内容は、憶えた直後には、指数関数的に急速に減少しますが、次第に緩やかな減少に転じ、一定時間が経過するとそれ以上の忘却が殆ど起らなくなることを示しました。
記憶は日々刻々と減少傾向を辿りますが、繰り返し何度も復習することで、一旦減少した記憶をその都度憶え直すと、記憶内容は徐々に固定化され保持されるようになることも明らかになりました。

次回予告
に続きます

教えて!
薬剤師さん
の専門家
えます!



(薬剤師 松田 凌地)

薬剤師さん



(薬剤師 奏 皓平)

お薬
工に
トセ
トラ

ワクチン同時接種

海外の研究でコロナワクチンとインフルエンザワクチンの同時接種は、それを単独で接種した場合と同じ効果、副反応があまり変わらないことが分かりました。日本では、2022年7月からコロナワクチンとインフルエンザワクチンを同時に接種できるようになりました。なお、10月より始まったオミクロン株対応ワクチンでも、インフルエンザワクチンと一緒に接種することができます。

ただしインフルエンザワクチン以外のワクチン同時接種は十分なデータがなく、片方のワクチンを接種してから2週間の間をおくこととされています。定期接種で他のワクチンを接種する場合（例えばお子さんの麻疹・風疹ワクチンなど）は、あらかじめ計画を立てたうえでワクチン接種の予約を取ることをお勧めします。

Q: 目薬1回分は何滴垂らせばいいですか？

A: 基本的には1回1滴で十分な量となります

結膜囊に入る量=1回分

この理由としてはまず目の構造の話になりますが、まぶたの裏から眼球の表面にかけて袋状になっている部分を結膜囊といい、目薬を垂らした際はこの結膜囊に一時的に貯留されます。結膜囊に貯められる容量は約30μL程度とされていますが、これに対し目薬の一滴の量は一般的には30~50μL程度であるため少しだけに入るように作られています。目薬を垂らした後に涙のようにこぼれてくることがあると思いますが、これは薬液が結膜囊に入りきらずに溢れたものとなります。

補足ですが、目薬1本分で何日間使えるのか？という疑問もここまで説明から考えることができます。目薬1本5mLで考えた場合は1mL=1000μLであるためおよそ100滴分使用できる計算となります。これを1日に垂らす回数で割ると、例えば1日2回両目に使用するのであれば1本で25日分程度使用できると推測できます。

私が目指していること

(看護部・4西病棟)

よこさう職員が
日常で綴る
エッセー集

こんにちは。私は8年目の看護師です。私が「今、目指していること」は、急変時対応ができるスキルと知識と行動力です。



医療従事者としての不安

私は8年間看護師として働いていますが医療現場での急変対応経験はほとんどありません。他チームで急変や病院内での緊急コールがあった際に駆け付け、対応サポートに携わったことはありますが、私がリーダーシップを取り対応をしたことはありません。基礎知識としてBLS※1を定期的に受講することはありましたが、実際に目の前で患者さんが意識消失し、心肺停止・呼吸停止状態になったときに、医療従事者として私は「咄嗟に動けるのか?知識を持って落ち着いた行動ができるのか?」という不安が常にありました。

そんな心情を察してくれた病棟の先輩が、プライベートで食事をしている時に話をしてくれました。

先輩 看護師の姿

「飲食店に居たお客様が急に倒れ込み、死戦期呼吸※2になったの」想像しただけで緊張しました。その際先輩は、胸骨圧迫をし、救急要請をお願いしたそうです。後日病棟の朝礼で、その方が無事退院したという報告を聞きました。その話に私はとても感動し、「私もそんな看護師になりたい」と強く思うようになったのです。



スキル を身に着ける

それから私は、ICLSを受講 (ICLS : Immediate Cardiac Life Support とは、突然の心停止に対して、即座に対応する最初の10分間の適切なチーム蘇生のこと)。学生時代によく

「人に教えることができるようになったら、身についた証拠」と聞きました。私は日常で経験ができる機会が少ない分、少しでもスキルを身に着け、行動できるようになるためには、ICLSを教える立場になる必要があると考え、インストラクターを目指すことにしました。

※1 BLS (BasicLifeSupport) 心肺停止または呼吸停止による1次救命処置。またはその処置の習得を目的とした教育プログラムを実践するトレーニングコースを指します。

※2 死戦期呼吸 心停止直後に見られるしゃくりあげるような呼吸。頭は動いていても胸が動いておらず実際には酸素が肺に届いてない無呼吸と同じ状態。

プロ フェッショナル

インストラクターになるために、まず数回ICLSのアシスタントを経験しました。インストラクターとして大事なことは、表情と声!のことです。受

講日は朝早くから準備や確認事項があり、朝が苦手な私は、なかなか午前中から笑顔で元気な声を出すことは難しく、努力が必要でした。インストラクターの方々は、事細かに教えて下さり、知らない事が沢山ありました。

やはりプロフェッショナルで憧れの存在です。また、受講生は経験が浅い方ばかりとは限らず、自分とは違う科のベテランナースや先生が腕慣らしに受講することもあり、とても緊張しました。

実践 での学び

しかし、横浜総合病院の先輩方は優しい方が多く、そのコース日は「こういうこともあったから、こういう時はこうした方がいいね」や「こ



目指す 場所に行く ために

11月中旬にインストラクターになるための外部の指導者養成講習会へ参加し、資格を得ることができました。なりたい看護師像に少しでも近づけるよう、今後も頑張っていきたいと思います!応援よろしくお願いします!



ワンダフルニャンダフル♪



レモン(ウズラ)/牡丹(金魚)

5歳/2歳 ♂/♂

レモンは生後すぐに娘が中学校の生物部からもらつてきました。ウズラと聞くと卵しか浮かばない人も多いと思いますが、室町時代には武士が鳴き声を競わせる「うずら合わせ」という行事がありました。レモンも毎日「御吉兆」(ごっさっちょう)と叫んでいます。羽がカールしていて綺麗な柄です。レモンは牡丹のことが大好きです。

牡丹は更紗和食です。口紅をつけたように赤い口で目は赤と青のオッドアイの美人です。泳ぎが速く跳ねることもあります。

(薬剤部)

新春



むぎ(右)/いと(左)

もうすぐ2歳/1.6歳 ♀/♀ チワワ

2匹はとても仲良しです。
どこに行くにもいつも一緒。

(放射線部)



よそバット大集合

ワンダフルニャンダフル♪



ぐうちゃん (ぐう)

7歳 ♀ マンチカン

とにかく人が大好きなマンチカンです。こんもりとした背中を見ると胸キュンしちゃいます。

(事務部)



ぐうちゃん (ぐう)

7歳 ♀ マンチカン

とにかく人が大好きなマンチカンです。こんもりとした背中を見ると胸キュンしちゃいます。

(事務部)

たいちゃん (タイガー)

不甲 ♂ レッドテグー

知人が飼育している大型トカゲです。
お昼時でバスキングライトに照らされて気持ちよさそうにお昼寝していた姿をパシャリ。

(事務部)



姫ちゃん (姫)

7歳 ♀ 甲斐犬

みんなのアイドル犬ですが、散歩中、他のワンちゃんに会うとよく吠えます。
獣医ですが採った雉子(キジ)を食べてしまったことも。。。一歳の時には猪に向かって行き鼻を怪我しました。女の子なのにかなり摩耗です。
狩猟シーズンになると豹変するみたいです。

(事務部)



よこそうライブラリー

よこそう職員がお勧めする医療関連エンターテインメントをご紹介いたします



無影燈

渡辺淳一

角川文庫

優秀な外科医として鳴らす直江は、大学病院のエリートコースを捨て個人病院に所属していた。そんな直江医師が医療現場で起きた様々な患者との出来事を実際に医師であった経験を持つ作者によって緻密に描かれており、医療行為現場のシーンなどもさすがにリアルで説得力があります。そして、問題への答えは決して一方的でなく、読者に多くの考える余地を残して悩ませます。当院の平元院長は大学一年時にこの本を読みとても感銘を受けたそうです。



海と毒薬

遠藤周作

角川文庫

1957年に発表された中編小説で、映画化もされるなど、遠藤周作品の中で5本の指に入る人気小説です。人体実験に参加することになった医師や看護師達は、戦争という極限状態の中、それぞれ何を考え、どんなことを思ったのか。登場人物の心の内が丁寧に描写されていました。参加者達の手記で構成される第二章が印象的でした。



-JIN-仁

村上もとか

集英社

「六三四の剣」「龍RON」などの名作で知られる村上もとかの医療系スペクタクル漫画です。大学付属病院に勤務する外科医が階段を踏み外しタイムスリップで江戸時代に行ってしまう場面から始まる壮大な物語です。歴史好きな方にはたまらない時代背景描写もあり読み応え満点です。2009年には大沢たかお主演でTVドラマ化。2011年には続編である完結編も放送されるなど、好評を博しました。



麻酔科医

江川晴

小学館文庫

主人公は新米麻酔科医の神山慧太。南関東医療センターに赴任してきた慧太が、医療現場での激務に奮闘し、もがきながらも成長していくストーリーとなっています。医療事故やミス、常に死と隣り合わせでプレッシャーに飲み込まれそうになる日々が続きます。医療現場での奮闘と、医師の恋愛などプライベートな生活も描かれます。仕事でもプライベートでも様々な経験をし、人として、医師として成長していく姿がリアルに描かれています。

よこそラニニュース

当院をよく知っていただくための情報を紹介します

認知症勉強会が行われました



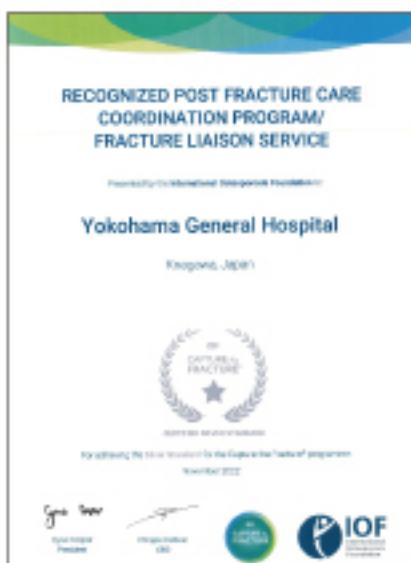
11/30(水) メロンディアあざみ野にて第21回青葉区認知症勉強会を行いました。講師に荒金英樹先生(愛生会山科病院消化器外科部長・京介食推進協議会会長)をお招きし、「食の支援による京のまちづくり」について講演していただきました。ZOOMによるオンライン配信も行い沢山の方々に参加していました。

【Capture the Fracture 銀賞】を受賞しました！

国際骨粗鬆症財団から【Capture the Fracture® 銀賞】に認定されました。

当院では、かねてより大腿骨の骨折や脊椎の骨折で入院される患者様の急性期の治療から回復期のリハビリ、退院後のフォローに至るまで多職種（医師、看護師、薬剤師、放射線技師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、介護福祉士、事務員等）が連携して骨粗鬆症の治療・再骨折予防・啓蒙活動に力を入れて取り組んで参りました。

今後一層スタッフ一丸となって、より安心していただける質の高い医療の提供を目指し活動を続けて参ります。



1月16日は「禁酒の日」



1月16日は「禁酒の日」、1920年（大正9年）1月16日に、アメリカで“禁酒法”が施行されたことに由来する日本だけのローカル記念日です。アメリカの禁酒法施行日が、なぜ日本の「禁酒の日」になったかは定かではありませんが、歴史的に有名な法律だったことが影響しているようです。毎日晚酌されている方や正月に深酒をし過ぎた方は、“休肝日”もしくは飲む量を少し減らしてみるのも一考かもしれません。身体を休めた後の、美味しい一杯も格別です。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

2023年最初のプロムナードは平元院長に表紙を飾って頂きました。今年は卯年、一般的に卯年生まれの特徴は「愛嬌はある一方で気分屋で落ち着きに欠ける」と言われているそうです。自分は年男なので笑顔を絶やさず、落ち着いて行動することを意識しながら一年を過ごしてみようと思います。制作に協力して下さった全ての職員の皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。（TOMO KAWAI）

人間ドックのご案内

～年に一度の健康チェックを～

私たちは定期的な健診をお受けいただくことで、皆様の健康管理、疾患予防のお役に立ちたいと願っております。ご受診を心よりお待ちいたしております。



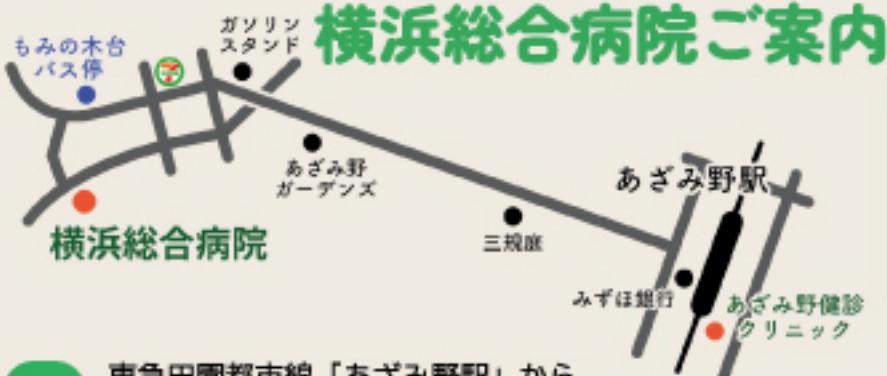
医療法人社団緑成会 横浜総合病院付属
あざみ野健診クリニック

- ・インターネット予約
- ・あざみ野駅より徒歩1分
- ・総合病院との連携



〒225-0011
横浜市青葉区あざみ野2-2-9
あざみ野第3ビル4F

TEL:045-522-6300
FAX:045-903-0777
Web:azamino-clinic.com



路線バス

東急田園都市線「あざみ野駅」から
「あ27系統すすき野団地」行き
「もみの木台」下車徒歩7分
小田急線「新百合ヶ丘駅」から
「新23系統あざみ野駅」行き
「もみの木台」下車徒歩7分

診察時間

午前	受付 8:00~11:30 診察 9:00~12:00
午後	受付 1:30~4:30 診察 2:00~5:00

あざみ野駅、青葉台駅、
鶴川駅、奈良北団地、
こどもの国駅、麻生、
すすき野方面より当院
直通バスを運行して
おります。
詳しくは下記HPをご覧
ください。



発行日:2023年1月1日
制作・編集 医療法人社団 緑成会 横浜総合病院
総務課「プロムナード」編集室

発行人:岩坪 新
〒225-0025
横浜市青葉区鉄町2201-5
TEL 045-902-0001

プロムナード VOL.357